

## 今週の感染症発生動向

感染性胃腸炎に警報発令中  
インフルエンザは急増

## 一類～五類全数報告感染症の発生状況(第 1 週)

- 一類感染症----- 報告はありません
- 二類感染症----- **結核 8名**
- 三類感染症----- 報告はありません
- 四類感染症----- **レジオネラ症 1名** (病型: 肺炎型、年齢: 90歳代)
- 五類感染症----- **破傷風 1名** (推定感染経路: 創傷感染)

## 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(681名)より大幅に増加し、今週は836名となっています。特に、インフルエンザで急増し、先週の約2.5倍増となっています。今後、さらに増加することが予測されますので、予防に対する十分な注意が必要です。今週、増加した疾患は、インフルエンザ、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患は、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎等です(週別発生状況については、疾患別定点当たり患者数のグラフ参照)。

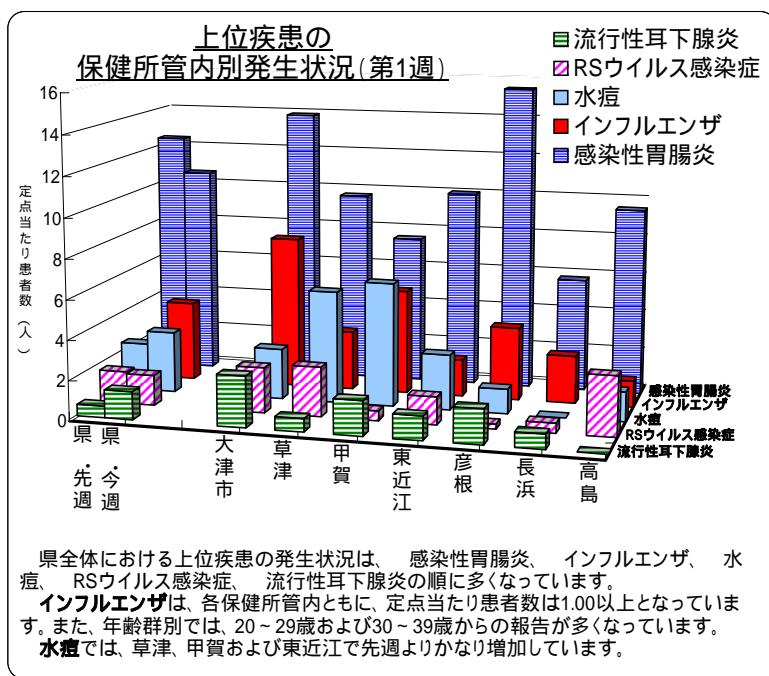
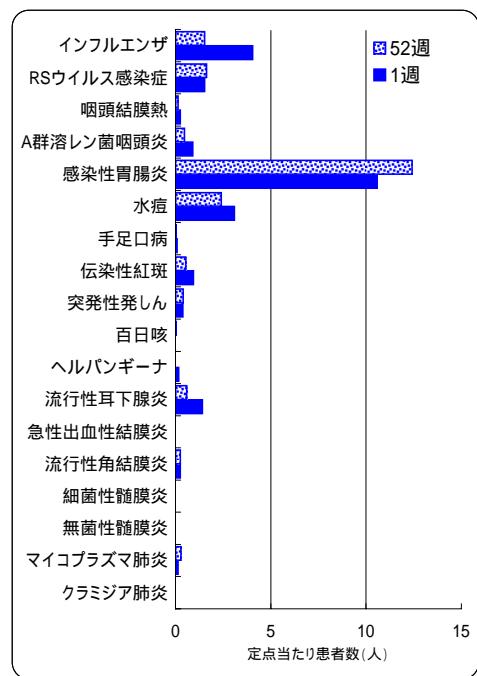
また、感染性胃腸炎については、先週よりかなり減少していますが、感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによる情報提供要領(医療機関の長期休診時の対応)により、警報は発令中となっています。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、感染性胃腸炎では、大津市保健所管内で警報発生(終息)基準値(定点当たり患者数 12.00)を超えています。伝染性紅斑では、甲賀保健所管内で、先週に引き続き警報発生(終息)基準値(定点当たり患者数 1.00)を超えています。水痘では、草津および甲賀保健所管内で、注意報発生基準値(定点当たり患者数 4.00)を超えてています。

## インフルエンザの予防(一般的な注意事項)

1. 日頃から石鹼・流水による手洗い、うがいをこまめに行う。
2. 咳エチケット<sup>(\*)</sup>を守る。
 

(\*): せき・くしゃみの症状がある時はマスクをする。  
(マスクのない時は口と鼻をティッシュでおおい、他の人から顔をそむけて1m以上離れる。)  
鼻汁、痰などを含んだティッシュは、すぐゴミ箱に捨てる。  
咳をしている人にマスクの着用をお願いする。
3. できるだけ人混みを避ける。
4. 室内を適度な室温に保つ。
5. 睡眠を十分にとる、栄養に気を配るなどにより、体調を整えておく。
6. 早めに医療機関を受診する。



## 1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出することになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成23年累積報告数		平成22年累積報告数 <sup>(*)1</sup>		平成21年累積報告数 <sup>(*)2</sup>	
		滋賀(1週)	全国 <sup>(*)3</sup> (1週)	滋賀	全国 <sup>(*)3</sup>	滋賀	全国 <sup>(*)3</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	8	226	251	26,078	256	26,932
三類感染症	コレラ	0	0	0	11	1	16
	細菌性赤痢	0	1	2	232	0	180
	腸管出血性大腸菌感染症	0	10	66	4,110	27	3,886
	パラチフス	0	1	1	21	0	27
四類感染症	E型肝炎	0	0	0	66	1	56
	A型肝炎	0	2	3	342	0	115
	オウム病	0	0	1	11	0	21
	つつが虫病	0	11	2	396	0	465
	デング熱	0	1	2	243	0	93
	マラリア	0	1	0	75	0	56
	レジオネラ症	1	7	10	726	8	712
五類感染症	アメーバ赤痢	0	4	7	831	10	783
	ウイルス性肝炎	0	2	3	220	3	220
	急性脳炎	0	3	1	234	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	2	167	2	141
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	3	124	2	105
	後天性免疫不全症候群	0	7	1	1,513	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	1	79	0	73
	梅毒	0	4	8	610	3	692
	破傷風	1	1	0	104	3	113
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	2	119	0	116
	風しん	0	1	5	89	2	148
	麻しん	0	6	1	457	7	739
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) <sup>(*)4</sup>	0	0	0	0	138	12,639

\* 1: 感染症発生動向調査暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年第52週現在)。

\* 2: 感染症発生動向調査年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月)。

\* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

\* 4: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:平成21年7月24日～8月24日)。

## 2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。  
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

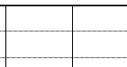
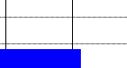
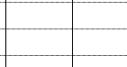
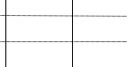
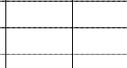
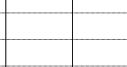
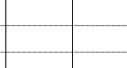
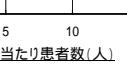
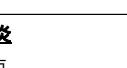
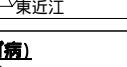
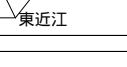
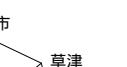
### (1) 疾病別・週別発生状況(平成22年第48週～平成23年第1週、H22.11.29～H23.1.9)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加)前週と同じ前週より減少)										
			48週	49週	50週	51週	52週	1週	週				
			11/29～	12/6～	12/13～	12/20～	12/27～	1/3～	49	50	51	52	1
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.11	0.09	0.21	0.49	1.53	4.04					
小児科	32	RSウイルス感染症	1.25	2.91	3.63	2.97	1.63	1.53					
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.19	0.16	0.25	0.09	0.13	0.25					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.06	1.25	1.78	1.44	0.47	0.91					
		感染性胃腸炎	12.94	14.59	17.88	19.31	12.41	10.59					
		水痘	2.50	2.06	3.50	1.97	2.41	3.09					
		手足口病	0.69	0.97	0.81	0.22	0.03	0.09					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.47	0.78	0.78	0.63	0.53	0.94					
		突発性発しん	0.53	0.88	0.47	0.59	0.41	0.38					
		百日咳	0.06	0	0.06	0	0.03	0					
眼科	8	ヘルパンギーナ	0	0	0	0.06	0	0.16					
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.22	0.75	1.16	0.53	0.59	1.41					
基幹	7	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
		流行性角結膜炎	0.25	0.63	0.50	0.75	0.25	0.25					
		細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		マイコプラズマ肺炎	0.71	0.71	1.00	0.14	0.29	0.14					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0.14	0	0	0					

### 各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……インフルエンザ、水痘  
減少傾向……RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、

## (2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第1週、1/2~1/9)

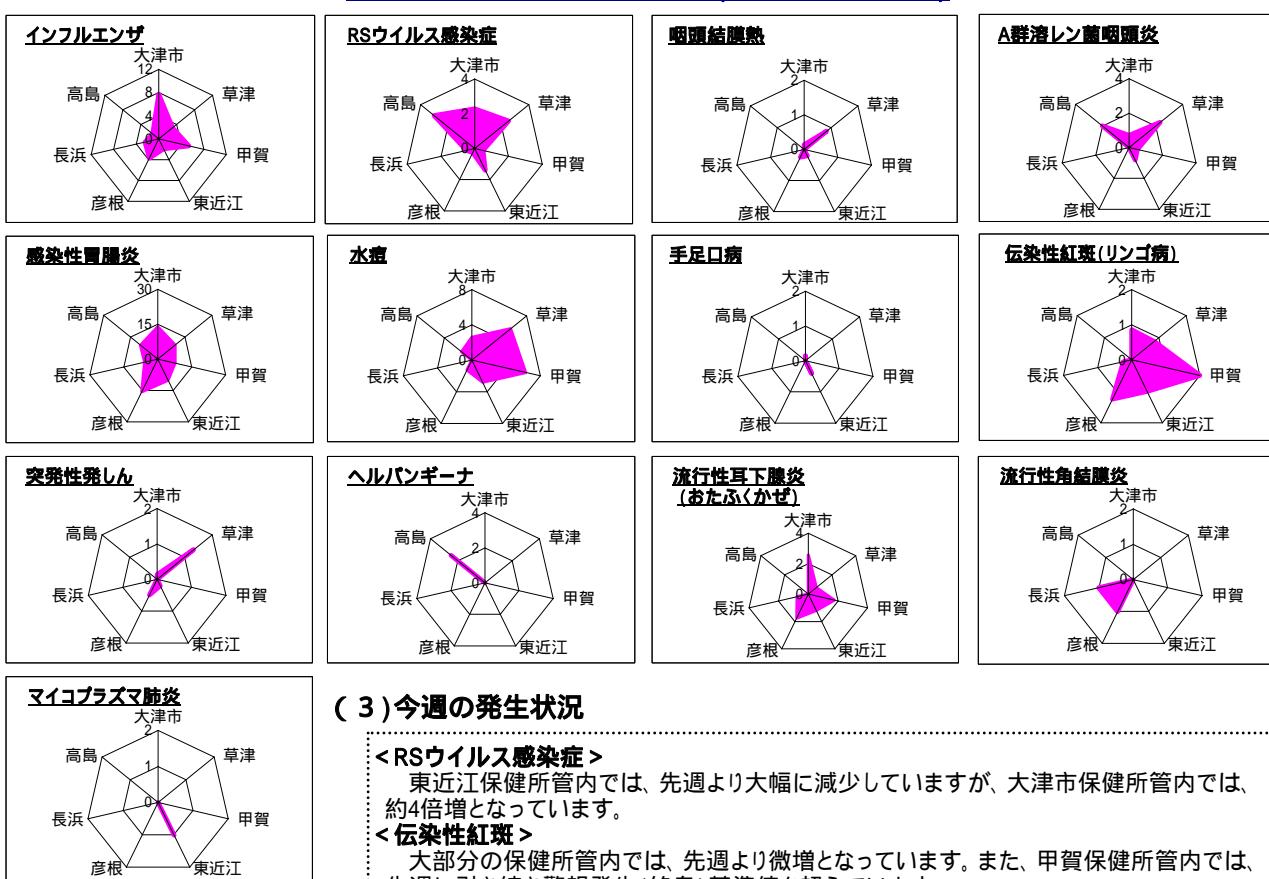
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況(県)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	4.04	7.73	3.00	5.29	1.88	3.71	2.43	1.33	
RSウイルス感染症	1.53	2.29	2.50	0.50	1.40	0.25	0.50	3.00	
咽頭結膜熱(ブル熱)	0.25	0.14	0.83	0	0.20	0.25	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0.71	2.33	0.50	0.80	0	0	2.00	
感染性胃腸炎	10.59	13.86	9.67	7.50	10.00	15.50	5.75	9.50	
水痘	3.09	2.57	5.67	6.25	2.80	1.25	0	1.50	
手足口病	0.09	0.14	0	0	0.40	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.94	0.86	0.83	2.00	1.00	1.25	0.25	0	
突発性発しん	0.38	0.14	1.33	0	0	0.50	0	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.16	0	0	0	0	0	0	2.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.41	2.57	0.67	1.75	1.20	1.75	0.75	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0	0	0	0	1.00	1.00	0	
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字 は警報発生基準値を超えてます。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えてます。

0 5 10 15  
定点当たり患者数(人)

## 疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



### (3) 今週の発生状況

#### < RSウイルス感染症 >

東近江保健所管内では、先週より大幅に減少していますが、大津市保健所管内では、約4倍増なっています。

#### < 伝染性紅斑(リンゴ病) >

大部分の保健所管内では、先週より微増なっています。また、甲賀保健所管内では、先週に引き続き警報発生(終息)基準値を超えてます。

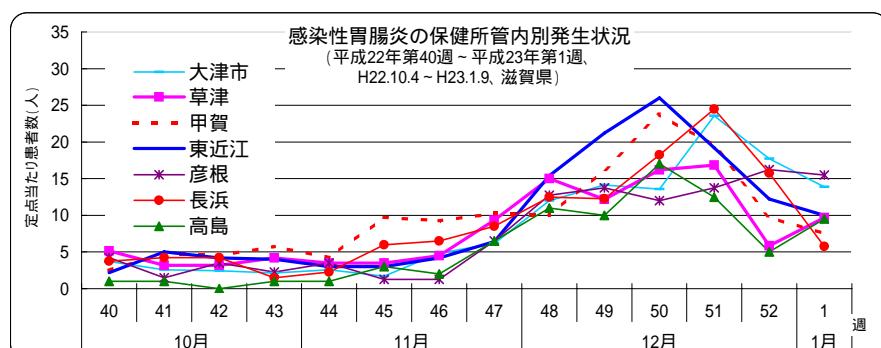
#### < 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) >

高島保健所管内を除くすべての保健所管内で、先週より増加しています。

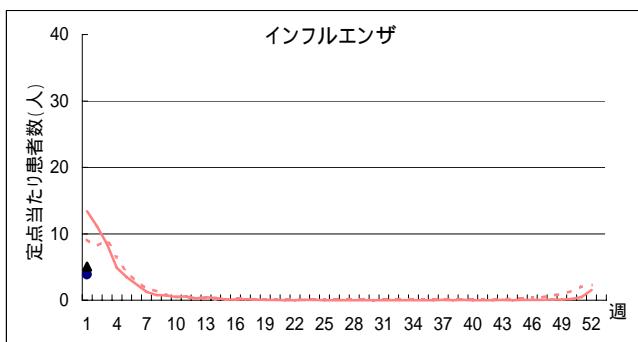
## 感染性胃腸炎の発生状況

県全体の、第1週の定点当たり患者数は、10.59で、3週連続して減少しています。保健所管内別では、大津市および彦根で多い状態が続いている。

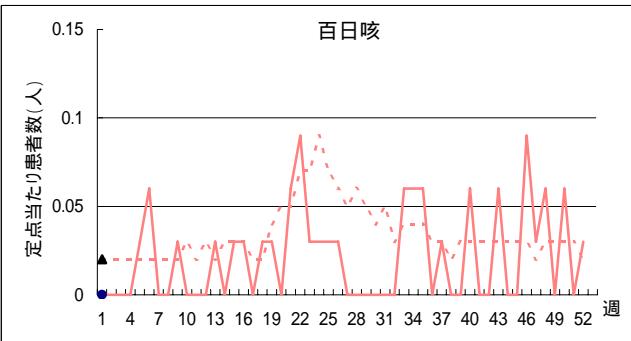
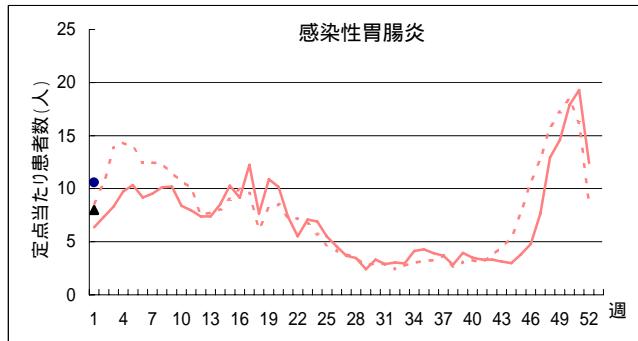
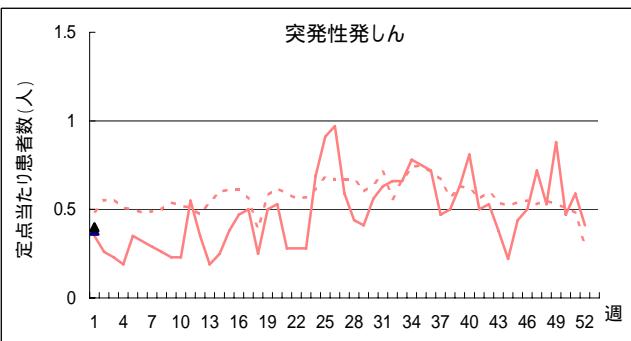
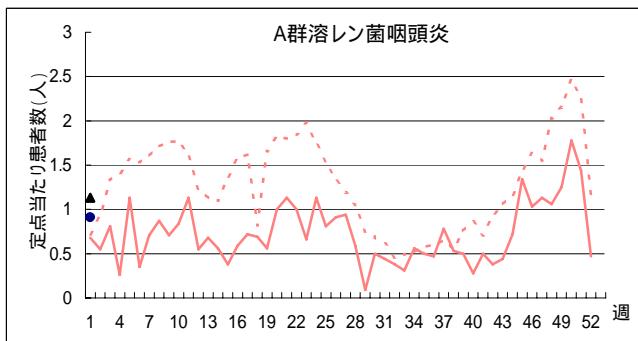
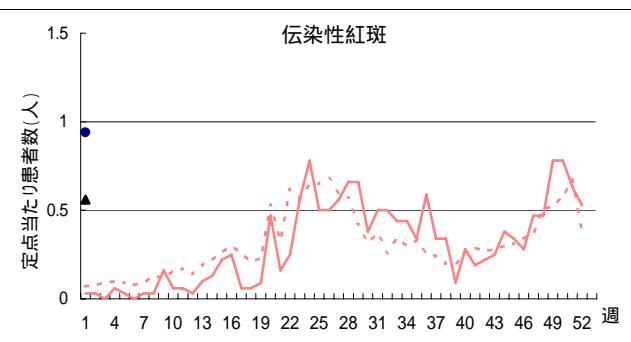
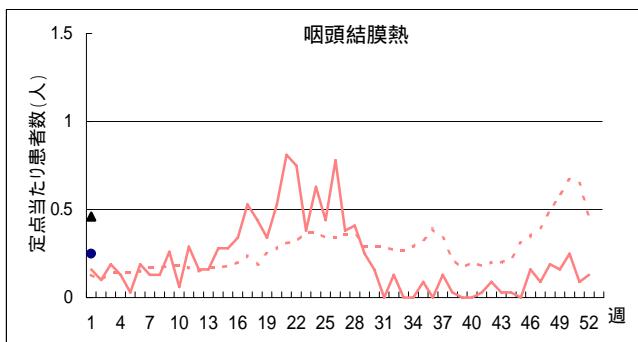
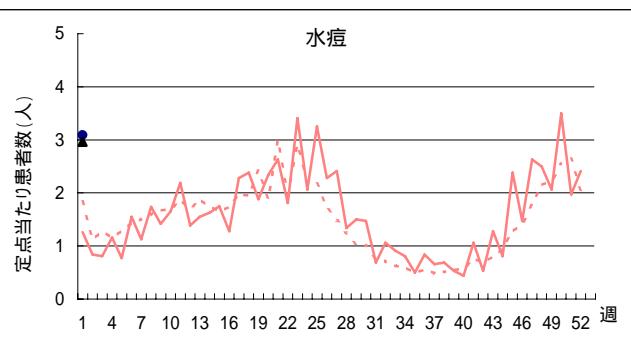
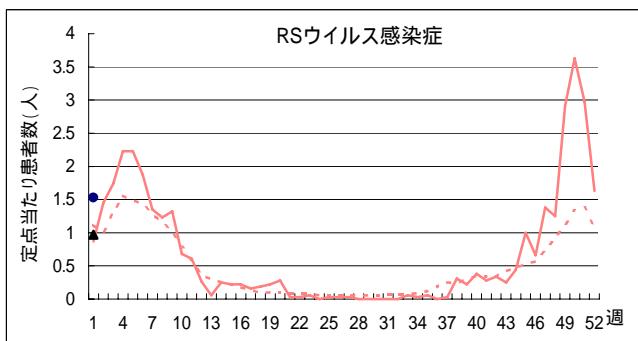
また、全国においても、平成22年第51週以降、4週連続して減少しています。



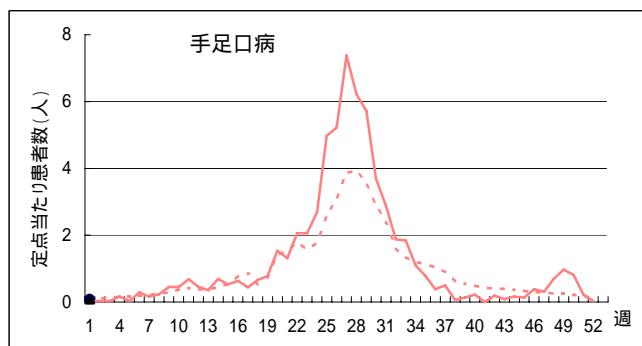
## 疾病別定点当たり患者数(平成23年第1週、H23.1.3～H23.1.9)



\* 平成23年1週のデータは、全国を、滋賀県をとして表示しています。



## 疾病別定点当たり患者数(平成23年第1週、H23.1.3～H23.1.9)



\* 平成23年1週のデータは、全国を、滋賀県をとして表示しています。

H22 滋賀  
全国  
H23 滋賀  
全国

